

## 第3回 新宮ダムの堤体挙動等に関する技術検討会 審議結果

日 時：平成24年2月24日（金）14:30～17:20

場 所：ホテルグランフォーレ 2F サザンクロス

出席者：阪田憲次座長、鎌田敏郎委員、河野広隆委員、浅井敏彦委員代理、箱石憲昭委員、山口嘉一委員、渡辺博志委員

※芹澤富雄委員の代理で浅井敏彦氏が出席

資 料：資料1 議事次第  
資料2 現地状況について  
資料3 洪水吐きゲート操作性について  
資料4 堤体下流面の漏水について

### 審議内容

#### 1. 現地状況について

これまで実施している観測状況について機構から報告した。

#### 2. 洪水吐きゲート操作性に関わる現象について

第2回検討会において、応急的な対策案として進めている扉体擦合せとゲート戸当り付替を組み合わせる案で水理的な点に配慮した検討をさらに進めた方が良いとの意見を踏まえ、その内容を審議した。また、今後の対応について審議した。

結果は次のとおり。

- ・ 応急的な対策は今回の案を基本に進めることで良い。
- ・ 今後の対策検討を進めるには、現象把握に至っていない点もあるため、トータルステーションによる堤体全体の変位など季節変動が分析できる1年間分の計測データを蓄積、分析した結果に基づいて検討した方が良い。

#### 3. 堤体下流面からの漏水の現象について

第2回検討会において、コンクリート打継面の平面的なひび割れ分布を把握するための調査方法（衝撃弾性波探査）の留意点を踏まえつつ調査を進めることとしていたことを踏まえ、その調査結果（速報）を機構から報告した。また、今後の対応について審議した。

結果は次のとおり。

- ・ 今後、衝撃弾性波探査のひび割れ分布調査としての評価を行うにあたって1箇所でも漏水の形跡がない箇所の計測データも取得した方が良い。
- ・ 漏水箇所（左岸-1）の打継面は今回の補修案を基本に進めることで良い。

#### 4. 今後のスケジュールについて

- ・ 第4回検討会は次年度の10月頃の開催予定とする。

（以 上）